

個人投資家向け Web説明会

2024年10月8日

第一生命ホールディングス株式会社
(証券コード：8750)



Dai-ichi Life
Holdings

01 第一生命グループのご紹介

02 中期経営計画

-ビジネスモデル構築と企業文化の変革

-企業価値向上の取り組み

03 株主還元

01 第一生命グループのご紹介

02 中期経営計画

-ビジネスモデル構築と企業文化の変革

-企業価値向上の取り組み

03 株主還元



第一生命グループ°

- 1902年 日本最初の相互会社として第一生命保険設立
- 2007年～ 東南アジアを皮切りに海外展開を開始
- 2010年 株式会社化し東京証券取引所に上場
- 2016年 持株体制へ移行し第一生命ホールディングスへ



創業者 矢野恒太



国内

さまざまな商品ラインナップと販売チャネルによって、多様化するお客さまニーズに対応する**マルチブランド・マルチチャネル体制**を確立

第一生命



(1902年創業)

第一フロンティア生命



(2006年創業)

ネオファースト生命



(2014年創業)

第一スマート 少額短期保険



(2020年創業)

アイペット

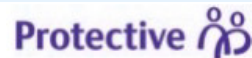


(2023～)

海外

安定した成熟マーケットから、成長ポテンシャルの高い新興マーケットまで、**世界9か国で事業を展開**

プロテクトィブ (米国)



(2015～)

第一生命カンボジア (カンボジア)



(2019～)

TAL

(オーストラリア)



(2011～)

第一生命ミャンマー (ミャンマー)



(2020～)

パートナーズライフ (ニュージーランド)



(2022～)

スター・ユニオン・第一ライフ (インド)



(2007～)

パニン・第一ライフ (インドネシア)



(2013～)

第一生命ベトナム (ベトナム)



(2007～)

オーシャンライフ (タイ)



(2008～)

非保険領域

サステナブルな成長を支えるアセットマネジメント事業と新規事業領域

ベネフィット・ワン



(2024～)

アセットマネジメントOne



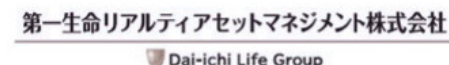
(2016～共同運営)

バーテックス・インベストメント・ソリューションズ



(2022創業)

第一生命リアルティ アセットマネジメント



(2019創業)

01 第一生命グループのご紹介

02 中期経営計画

-ビジネスモデル構築と企業文化の変革

-企業価値向上の取り組み

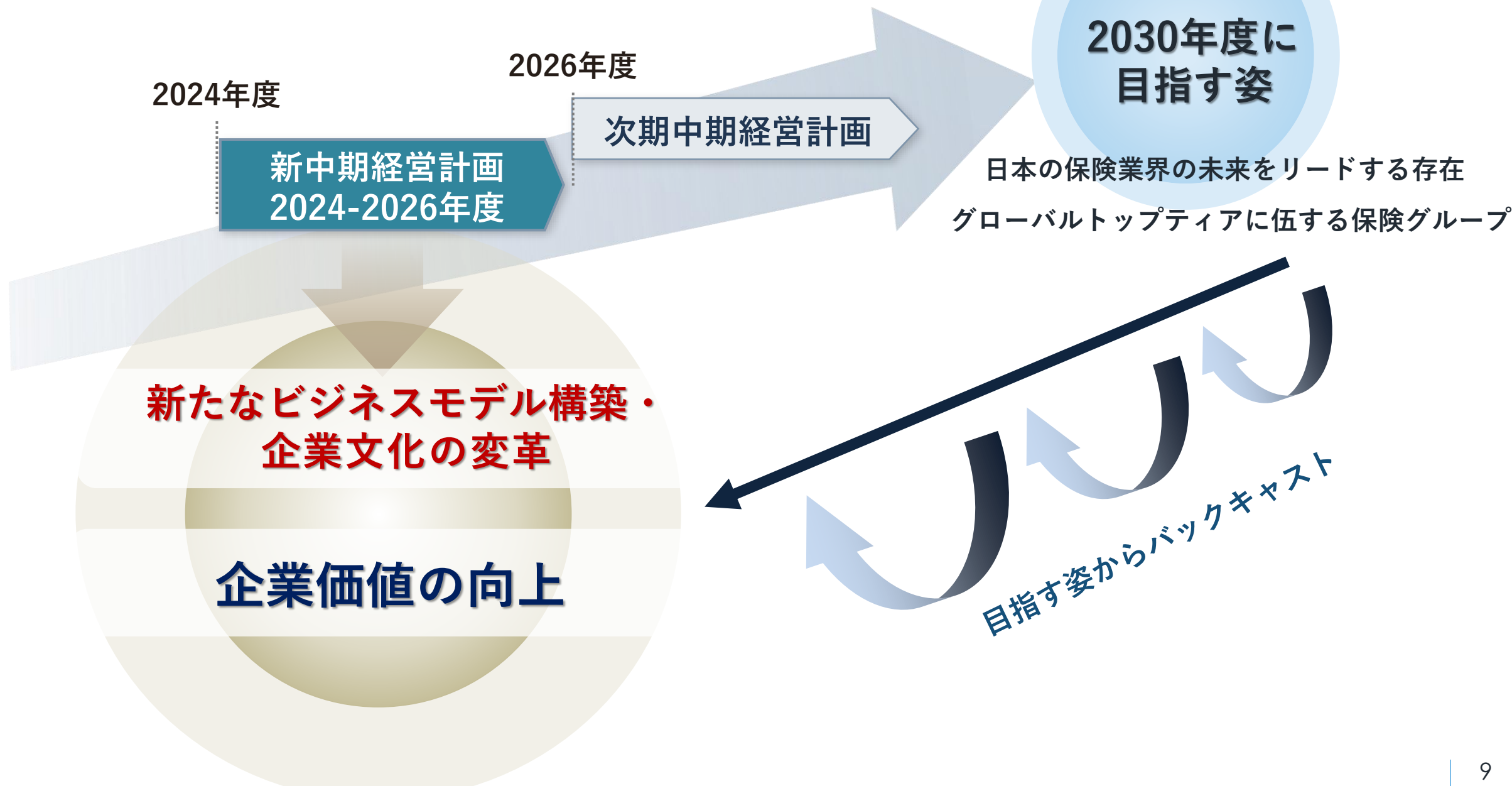
03 株主還元



**日本の
保険業界の未来を
リードする存在**



**グローバル
トップティアに
伍する保険グループ**



1

ビジネスモデル構築と企業文化の変革

環境変化

価値観の多様化

ニーズの細分化

現状

保障中心の
保険業

[現中計期間の取組み]

- ・ 事業領域の拡大
- ・ 企業文化の変革

2030年に目指す姿

保険サービス業
への進化

2

企業価値の向上

課題認識

当社株式に対する市場評価
(割安な株価バリエーション)

資本効率 < 資本コスト

- ・ 資本コストの低減
- ・ 資本効率の向上

資本コストを
安定的に上回る
資本効率の実現

01 第一生命グループのご紹介

02 中期経営計画

-ビジネスモデル構築と企業文化の変革

-企業価値向上の取り組み

03 株主還元

国内3社による マルチブランド	一生運のパートナー 第一生命	ネオファースト生命	第一スマートほけん
市場	保障中核世代	比較志向のお客さま	ミレニアル世代・Z世代
商品	総合ラインアップ	医療・健康増進型商品	デジタル完結型保険
中核チャネル	生涯設計デザイナー	保険ショップなどの乗合代理店	デジタルダイレクト（スマホなど）

国内3社における具体的取組み

第一生命
商品とコンサルティングの一体改革

一人ひとりにぴったりの保障プラン

ジャスト

生涯設計プラン

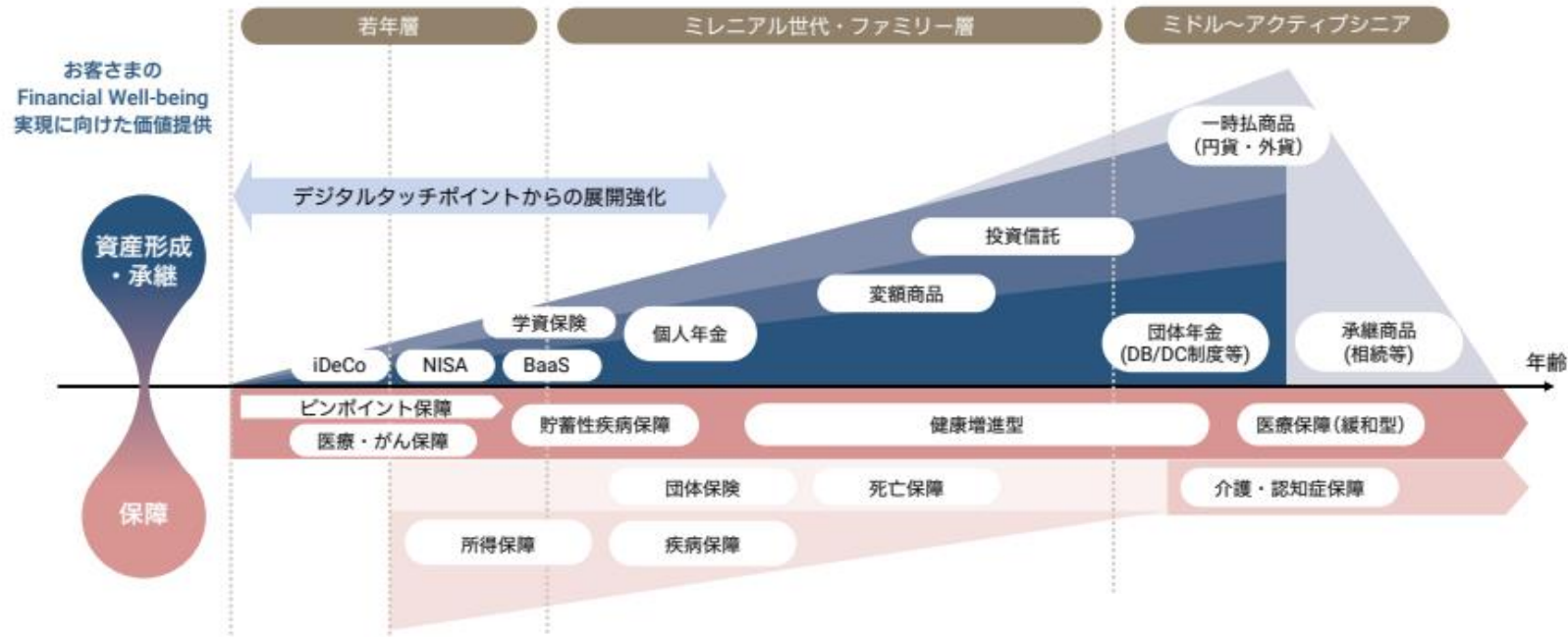


ネオファースト生命
「Wellness」を応援する取組み



**第一スマート
少額短期保険**
「デジホ」ラインアップの拡充





お客様のFinancial Well-beingを実現



第一生命

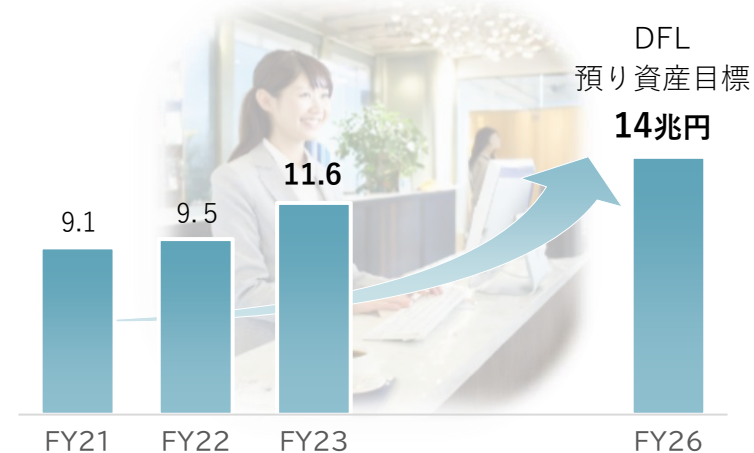
 Dai-ichi Life Group

資産形成・承継・相続アドバイザー



 第一フロンティア生命
 第一生命グループ

商品開発・運用機能等の強化を通じた預り資産の拡大



- 保険販売が中心であった対面チャンネルで、保障と資産形成・承継の一体コンサルが可能な人財育成を加速

⇒ **2026年度末に1,700名規模**
(既存の生涯設計デザイナーとは異なる人財)

当社グループのアセットマネジメント機能

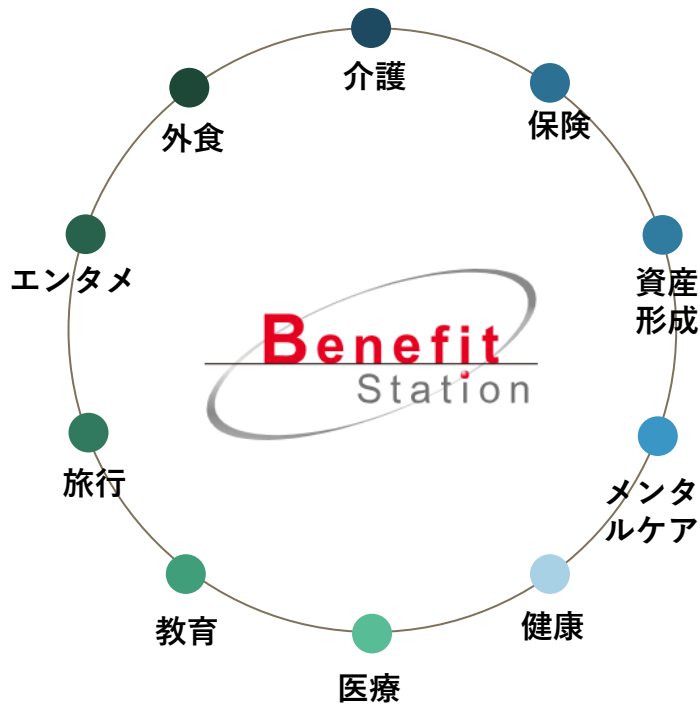
特定領域に強みを持ったアセマネ機能をさらに拡充

当社グループの
運用機能の強化



グループ外の
資金取り込み

ベネフィット・ワンとのシナジー



140万件以上のサービスを優待価格で利用できる総合福利厚生サービス。従業員満足度の向上や健康経営、スキルアップの促進を支援。導入企業は約16,000団体、会員数は約1,100万人。



Benefit one



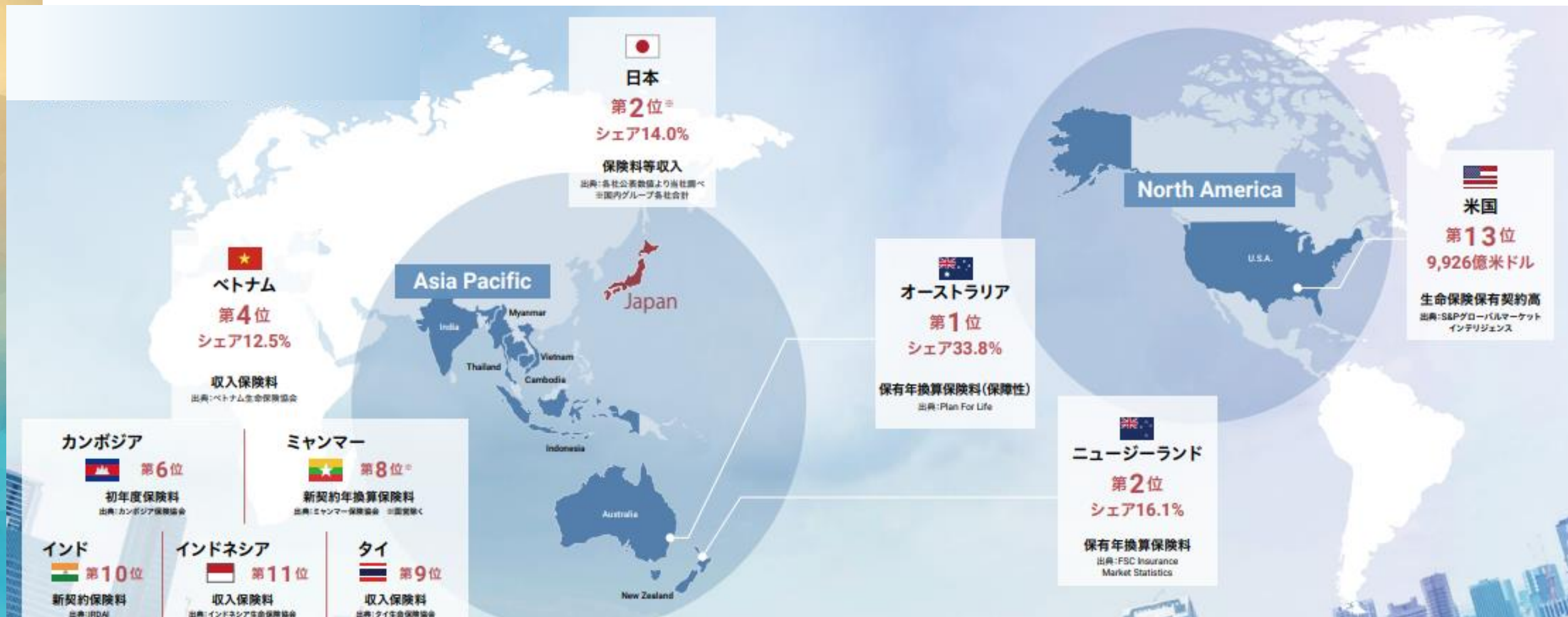
Dai-ichi Life
Group

Well-beingサービスを提供する社会インフラとして
ベネフィットステーションの活用

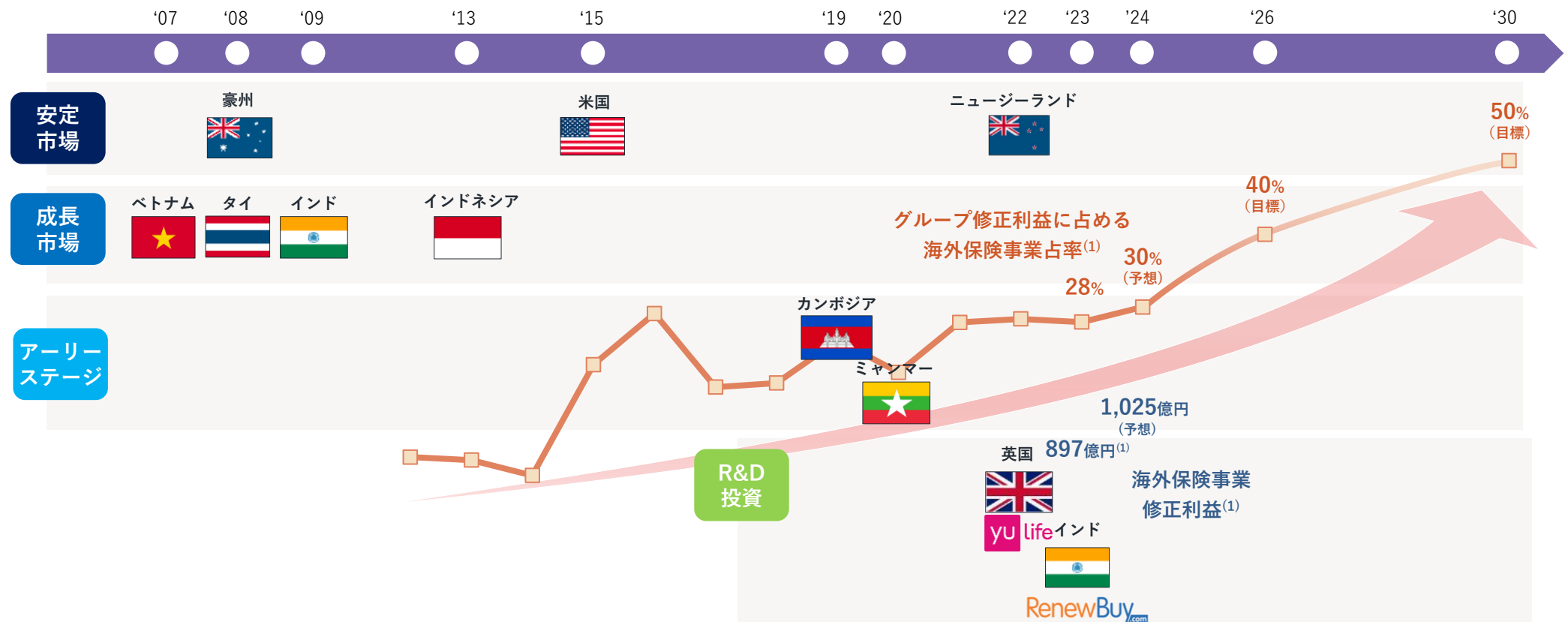
プラットフォーム**会員数**の拡大

プラットフォーム**サービス・機能**の拡充

日本を含む10か国でグローバルに事業を展開

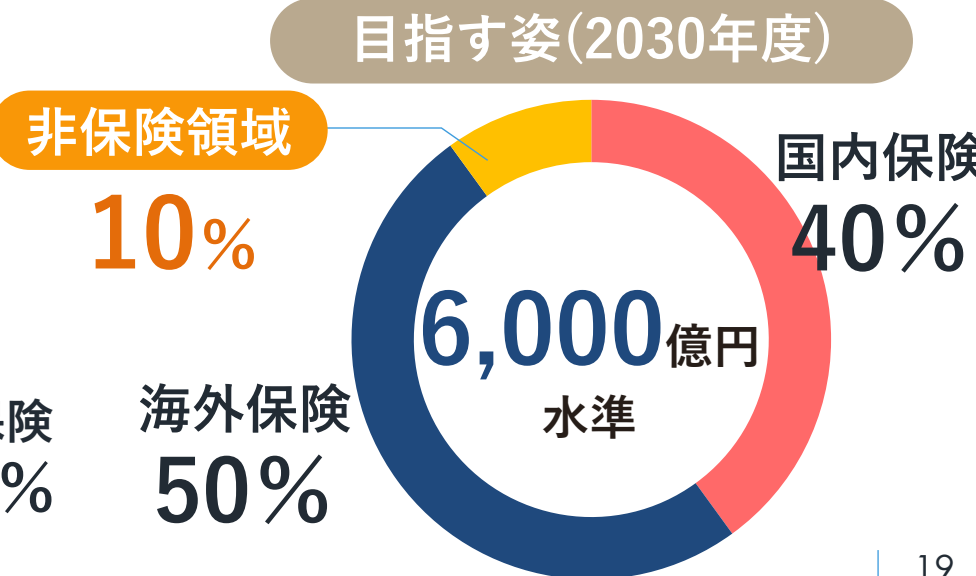
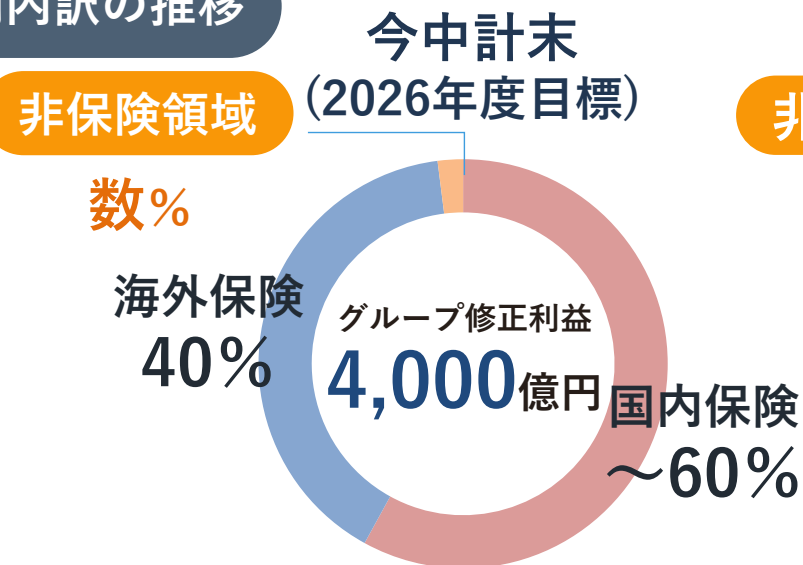
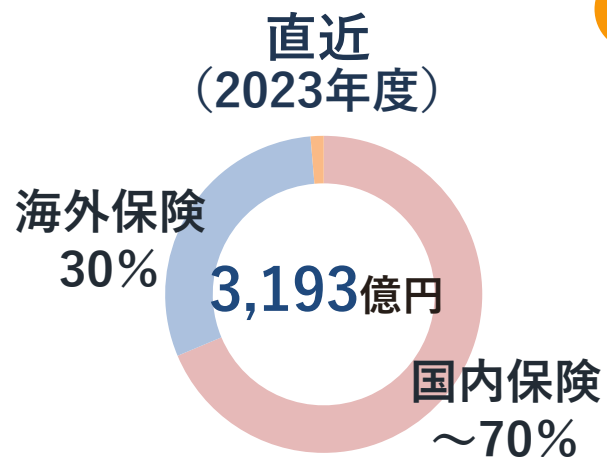


海外の利益割合を2026年度に40%（1,600億円）、2030年度に50%を目指す





グループ修正利益の事業領域別内訳の推移



経営体制

CXO体制を拡充し、外国籍を含む専門性の高い外部人財を登用

社員採用

新規採用社員の内、約4割がキャリア採用

CXO体制

2023年度 新規採用社員

2022年度

<設置開始>

CEO 菊田 徹也
(Chief Executive Officer)

CFO 西村 泰介
(Chief Financial Officer)

2023年度

<大幅拡充>

CDO スティーブン・バーナム
(Chief Digital Officer)

CIO スティーブン・バーナム
(Chief Information Officer)

CRO 大橋 秀行
(Chief Risk Officer)

CSuO 曾我野 秀彦
(Chief Sustainability Officer)

CCmO 和田 京子
(Chief Communications Officer)

CCpO 幸津 ウェブスター
(Chief Compliance Officer)

2024年度

<更に拡大>

CCXO (Japan) 北堀 貴子
(Chief Customer Experience Officer)

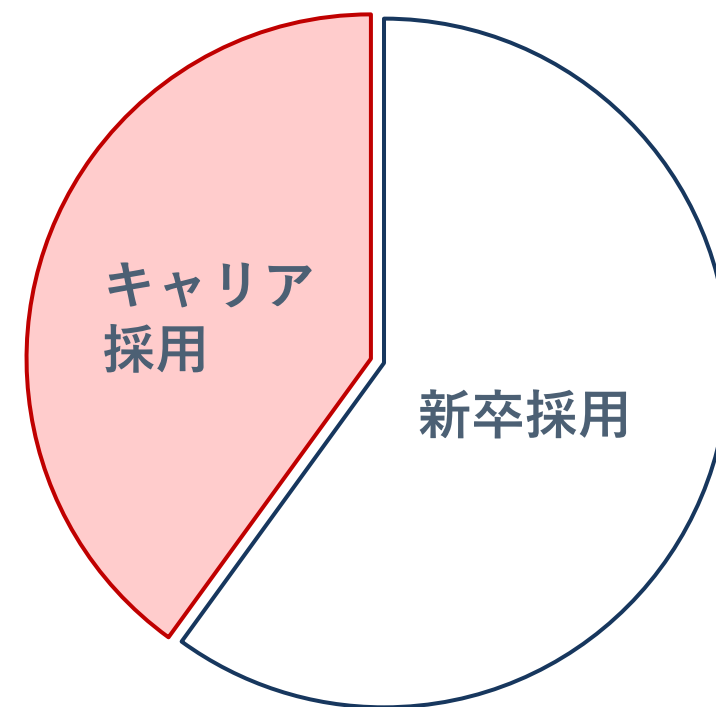
CHRO 沼田 陽太郎
(Chief Human Resources Officer)

CDAO フィゲン・ウルゲン
(Chief Data and AI Officer)

CIAO 庄子 浩
(Chief Internal Audit Officer)

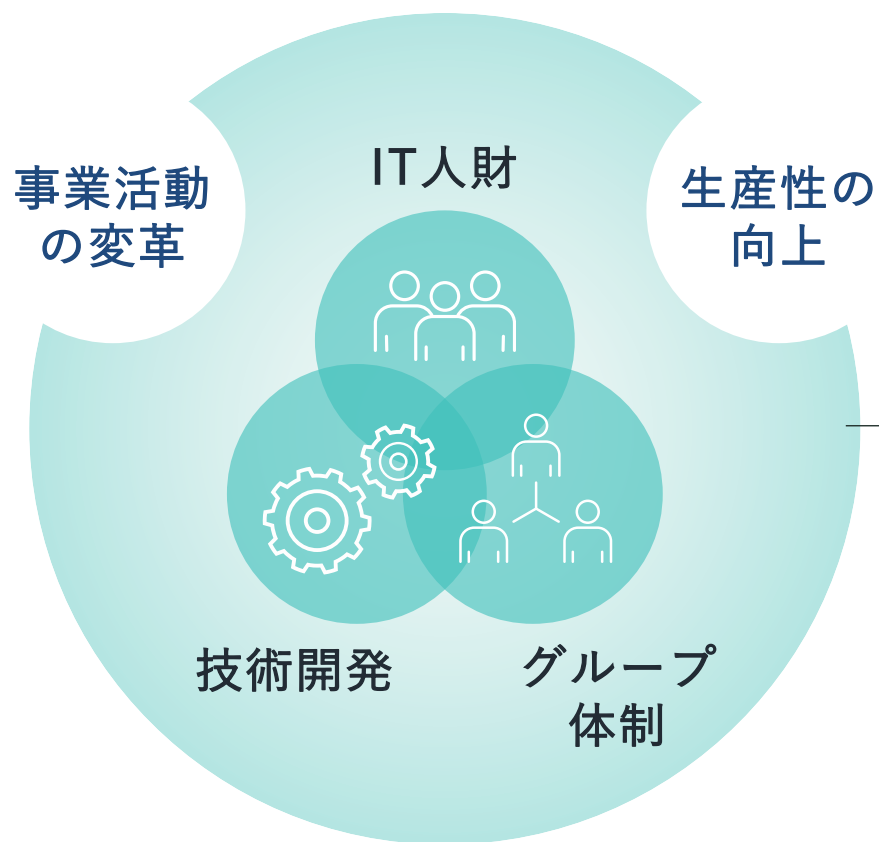
○ = 社外出身

○ = 社内出身



※基幹総合職141名

組織能力の強化を地盤として、グループのデジタルイノベーションに向けた取組みを加速

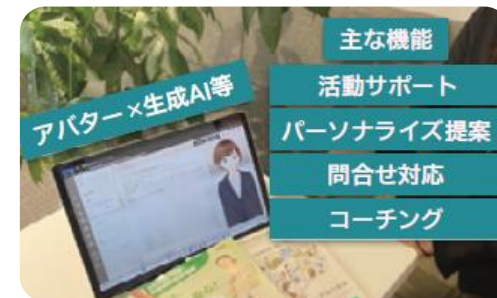


外部の専門人財の登用による組織能力の強化

CDO (Chief Digital Officer) スティーブン・バーナム
CIO (Chief Information Officer) フィゲン・ウルゲン
CDAO (Chief Data and AI Officer)

第一生命保険でのIT/DX領域取組み

「お客さまコンサルティング強化」に向けた
AIアバターの開発



01 第一生命グループのご紹介

02 中期経営計画

-ビジネスモデル構築と企業文化の変革

-企業価値向上の取り組み

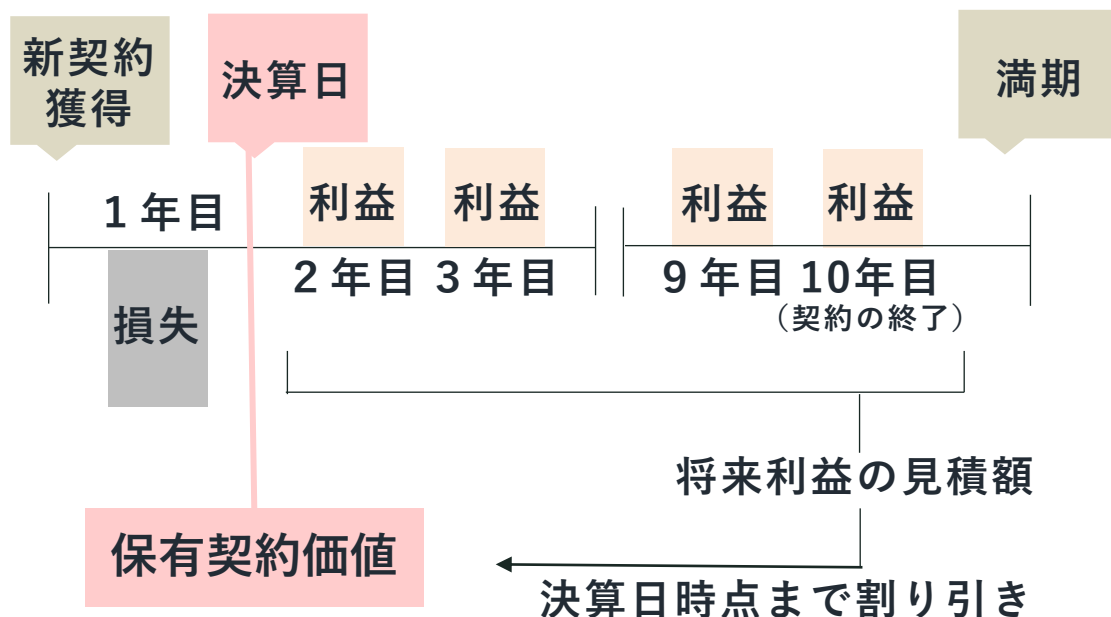
03 株主還元

現在の株価EV倍率は約0.4倍程度
欧米の大手保険グループの水準を下回る

生命保険会社

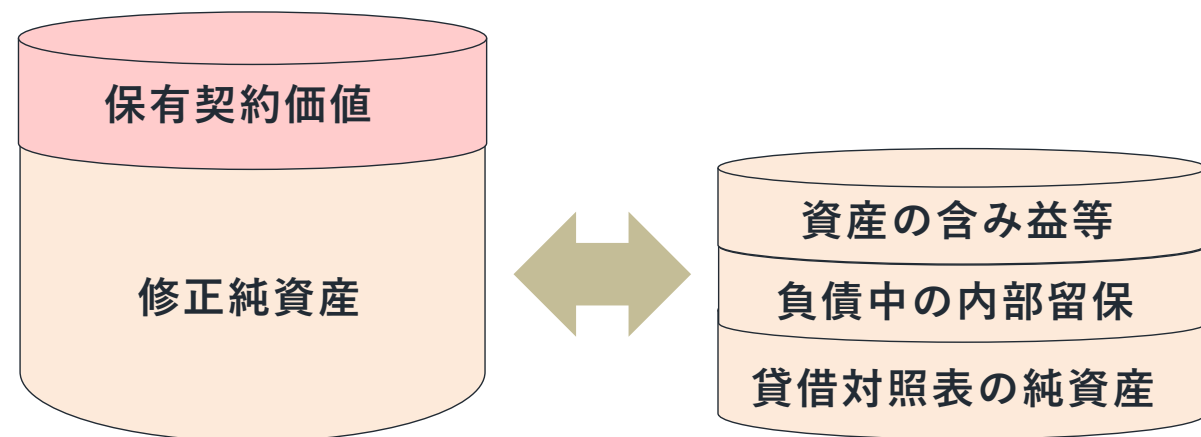
長期の保険契約から
将来に利益が発生する特性

(イメージ)



EV (エンベディット・バリュー)

将来見込まれる利益を現時点の価値として計算
適正な株価を判断する際の指標の一つ



資本コストを安定的に上回る資本効率の実現

資本コスト

資金の出し手が企業に対して求める期待リターン

現在

資本の出し手の期待 $>$ 事業によるリターン



2026年度

資本の出し手の期待 $<$ 事業によるリターン

事業によるリターンが期待リターンを逆転することで、株価を大幅に改善

財務・バランスシートリスクを抑制し資本コストを低減

資本コスト

2020年度

10%

2023年度

9%

リスク削減を強力に推進
目標5,600億円のところ
7,062億円の削減を達成

2023年度

9%

2026年度

8%

更なるリスク削減に向け
国内株式**1.2兆円**を売却

**第一生命保険保有の国内株式を売却することで
金融市場に関連するリスクを抑制**

グループ修正利益を引き上げ資本効率を改善

資本効率

修正ROE

2023年度

8.2%

2026年度

10%超

利益目標の達成
により実現

グループ修正利益

2023年度

3,193億円

2026年度

4,000億円

直近の実績から
一段高い利益水準へ
持続的に成長

$$\text{修正ROE} = \frac{\text{グループ修正利益}}{\text{自己資本}}$$

修正ROEの分子となる
グループ修正利益を引き上げ

グループ修正利益を引き上げ資本効率を改善

資本効率

グループ修正利益

2023年度

3,193億円

2026年度

4,000億円

直近の実績から

一段高い利益水準へ
持続的に成長

第1四半期時点での進捗

2024年度1Q

1,444億円

前年同期比+75%

通期見通しの
42%の進捗

2024年度通期予想

3,400億円程度

「資本循環経営」の進展による 企業価値の向上

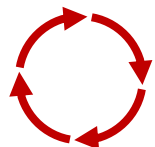
余剰資本の有効活用

$$\text{修正ROE} = \frac{\text{グループ修正利益}}{\text{自己資本}}$$

↑
↓

圧縮

自己資本



成長領域への戦略的投資

資本効率の向上

資本効率の向上 ↑

資本コストの低減 ↓

01 第一生命グループのご紹介

02 中期経営計画

-ビジネスモデル構築と企業文化の変革

-企業価値向上の取り組み

03 株主還元

資本循環経営を推進し、株主の皆さまに対する魅力的な株主還元を継続
安定的な現金配当、機動的・戦略的な自己株式取得

新中計期間

2024年度

～

2026年度

配当性向

30%

前中計期間

40%

新中計期間

将来的には**50%**水準までの
更なる引き上げを検討

配当金額

2024/3期

当初予想

86円

113円

1株当たり年間配当の減配は
原則行わない

2025/3期予想

122円 (予想)

中間配当**61**円 (予想)

自己株式取得

2024年度

1,000億円を取得

株主の皆さまからの声が多かった、株主優待を新設 9月にベネフィット・ステーションを拡充

QOLism

QOLeapが健康保険組合等の会員のみに提供している
健康増進アプリ「QOLism」(キュオリズム)が利用可能に



保有株式数

100株以上 200株未満

200株以上

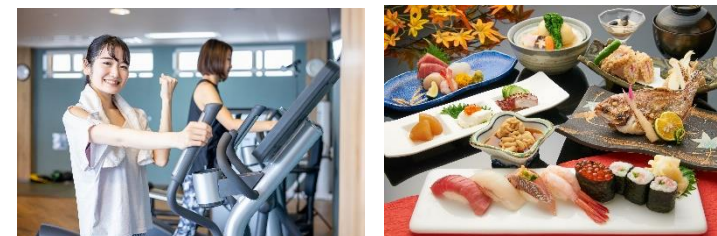
獲得ポイント数 (年間)

最大 **2,000円**相当

最大 **5,000円**相当

ベネフィット・ステーション

ベネフィット・ワンが企業の福利厚生サービスとして
提供している会員制生活総合サービス
「ベネフィット・ステーション」も利用可能に



お得で手軽な会員特典 **140万** 件以上

例：グルメやレジャー等の割引クーポンをGET！